

メディア連携協議会の開催趣旨

- 気候変動の影響等により、今後も大規模な洪水被害、土砂災害の発生が想定される中、住民一人一人がその危険性を認識し、自身の命を守るための行動につなげていくことが重要
- メディア関係者と連携し、より良い災害情報の発信の内容や発信の仕方、伝達的手段等を検討し、確かな避難行動がとれるように住民一人ひとりに情報が伝わることが重要
- また、情報を受け取ることが難しい者、避難行動に支援が必要とされる者が存在すること、避難行動のきっかけとなったのが地域の声掛けである場合も多いことなどを踏まえると、地域コミュニティの活動を支援するという視点でも、どのような情報の発信、共有の仕方が適切かについても検討することが必要
- 情報を発信する行政と情報を伝える機能を有するメディア関係者などが連携し、広範性、即時性、双方向性、高参照性などそれぞれが有する特性を活かした対応策、連携策を検討し、住民避難行動に結びつく災害情報の提供・共有方法を充実し、速やかにその実施を図ることを目的